

Democracy Now  
AUGUST 10, 2023

Why Is Ukraine Prosecuting Pacifist Yurii Sheliuzhenko  
for "Justifying Russian Aggression"?

## なぜウクライナは 平和主義者シェリアジェンコを 「ロシアの味方」だと告発するのか？

[https://www.democracynow.org/2023/8/10/yurii\\_sheliuzhenko\\_charges](https://www.democracynow.org/2023/8/10/yurii_sheliuzhenko_charges)

### リード

ウクライナ当局はロシアの侵略を正当化した罪でウクライナの平和活動家ユーリー・シェリアジェンコ起訴した。キエフのアパートが家宅搜索された数日後に、彼に話を聞いた。

シェリアジェンコはウクライナ平和主義運動の事務局長であり、紛争の激化に反対の声を上げている。彼は戦争を終結させるために、停戦と和平交渉を呼びかけている。

シェリアジェンコは、尋問から戻った直後のインタビューで「デモクラシー・ナウ！」に語った。お分かりいただけるように、彼はかなり興奮し、筋道だって喋るのが困難な様子だ。

「戦争を正当化するために、平和主義者が非難されるというのは、まったくナンセンスだ。治安機関はヴォロディミル・ゼレンスキー大統領の権限下にある。平和活動家を弾圧するのに、指導者が権力機関を用いて直接に指図するのは、民主主義社会では不適切だ」

以下、シェリアジェンコとの対話を文字起こししたもの。司会はいつものエイミー・グッドマン

GOODMAN:

ウクライナの平和主義者ユーリー・シェリアジェンコは、アパートが家宅搜索され、その数日後に、ロシアの侵略を正当化 (justify) したとしてウクライナ政府に告発された。

ユーリーはウクライナ平和主義運動の事務局長であり、「良心的兵役拒否運動」のヨーロッパ事務局で、「戦なき世界を」の一員である。彼はデモクラシー・ナウ！に何度も出演し、戦闘や制裁による紛争の激化に大きな声を上げて反対している。

ユーリイ・シェリアジェンコは、もし投獄されてもウクライナに残り、獄中から平和活動を続けると誓っている。まず、彼が1時間前に受けたばかりの尋問について尋ねた。

SHELIAZHENKO:

この取り調べで、捜査官は裁判所への要請書のコピーを私に渡した。彼は私に「裁判所に自宅軟禁を申請せよ」と求めた。

彼は開示された資料をいくつか公開したが、この書類の山から、私はこう言わざるを得ない。

私は人権擁護者として、良心的兵役拒否の人権と呼ばれる法律扶助文書を発表した。そのときから始まったのだ。

彼らはそれを国家安全保障に対する脅威とみなした。ウクライナ軍への動員を脅かすものと見なしたのだ。そして私を監視し始めた。

ここに "ウクライナと世界のための平和アジェンダ " がある。

そこには、ソビエト連邦解体後の、両者の友好的な離婚からロシアの攻撃、そして本格的な侵略に至るまで、ロシアとウクライナの対立がエスカレートしてきたことを科学的に分析してある。

この声明は、両者の停戦と和平交渉を求めるものである。

それは「敵」のイメージについて批判的に考えることを求めている。武装勢力による人権侵害の防止を求めている。

また、この声明は、すべての人の殺人を拒否する権利を守ることを求めている。

この声明は、昨年9月21日の国際平和デーを記念して、ウクライナ平和主義運動の会議で採択された。

私はそれを、ウクライナ大統領や人権擁護のための議会委員を含む数人の役人に送った。

しかし、大統領府も人権擁護議員事務所も、民主的な機関、民主的な指導者が行うべきこととして、声明文の是非を検討したり、回答を出したりすることはしなかった。彼らは、ただ案件を保安庁に送っただけだった。

注目していただきたい。安全保障局に関する法律によれば、安全保障局の所轄は、大統領に直属しているのである。

そもそも大統領府というものは、国民の訴えや請願を考慮し、平和の可能性を議論し、外交的解決策を模索し、憲法に従って人権の保証人となるために設置された機関である。

その大統領府の主人公であるウクライナ大統領が、大統領府がそれらを検討するどころか、案件処理の指示を保安局に送っている。

ウクライナ国のヴォロディミル・ゼレンスキー大統領は、平和を訴える人々に対する政治的弾圧の組織に直接関与しているようにしか見えない。これは恐ろしいことであり、民主主義社会では許されることではない。

GOODMAN:

ユーリイ、あなたに尋ねたいのだが、あなたはロシアの侵略を正当化していると国家が言っていることに対して、どう対応するつもりですか？

**シェリアジェンコ：**

平和主義者が反戦声明を出したからといって、戦争を正当化していると非難されるのは全くナンセンスだ。この「平和アジェンダ」は、ロシアの侵略を糾弾している。そしてロシアの侵略を糾弾する国連総会決議を引用している。

現代の国際秩序において、国際法に違反する行為は間違っていることを理解しなければならない。そうではなく、国際秩序の民主的かつ適法的な基盤を強化すべきなのだ。

それで、ロシアの侵略を正当化したという疑惑のために、私は身体検査を受け、そして抑圧的なシステムに押し込まれた。それも、わが国政府がサウジアラビアでサミットを開催し、いわゆる「ゼレンスキーの平和の公式」(peace formula of Zelensky)を推進したときにだ。そしてこの「平和の公式」は、実際には恒久戦争を宣言する公式なのである。

ゼレンスキー流「平和の公式」のキモは、ラスムッセンとヤーマクの作業部会が作成した「キエフ安全保障協定」Kyiv Security Compactだ。ラスムッセンは元 NATO 議長である。

このキエフ安全保障協定は、平和どころではない。そこには数十年間にわたる西側からウクライナへの軍事供給が含まれている。このキエフ安全保障協定には、ウクライナの住民を戦争に総動員することも含まれている。

GOODMAN:

ロシアとの戦争の結末をどのように考えていますか？

YURII SHELIAZHENKO:

多くのシナリオが提案されていることは知っている。非常に悲観的なものから楽観的なものまでさまざまだ。

でももちろん、私の夢はこういうものだ。

ウクライナの人々も、ロシアの人々も、世界のあらゆる場所の人々が、自分たちの社会を非暴力的な統治へと変革する必要性について真剣に考える。

そして、現在の構造的暴力が、より進歩的で非暴力的な民主的統治に取って代わられることだ。そうすれば、この戦争だけでなく、世界のすべての戦争が終わるかもしれない。そう思っている。

わかってももらえると思うけど、この戦争は単純なものではない。もう十年も前から計画されてきた。この戦争のための資金調達は、何十年も前から準備されている。この入念な支度は好戦主義者が長年かかって編み出してきたものだ。だから問題はとても深刻なのだ。

もっとわかりやすいアプローチもある。もちろん、ロシアがウクライナから出て行ってくれれば最高だ。

我々には素晴らしいスローガンがある。" ロシアはウクライナから出ていけ、NATOは無くなってしまえ！"

それさえ実現すれば、それは最高のシナリオだ。

しかし、それが実現するのは難しい。それは社会にもっと深刻な変化が始まった場合に限られるだろう。

もっと消極的な選択肢もある。

例えば、停戦と和平交渉がある種の凍結された紛争の結果として実現する場合である。それは、もちろん非常に長くてつらい痛みを伴う選択肢である、戦争を止めるという合理的な選択をするのではなく、疲れ切ってしまったために戦争を止めるのだ。

何万人もの傷病者がいるのだから、国民の疲弊状態は当然起こりうる。戦いたくないという人も増えている。ロシアも同じだ。

私は戦死者について言っているのではない。多くの兵士や民間人が殺されている。ウクライナ都市は破壊された。この戦争は、少なくとも人道的に見て終わらせるべきだ。

人道的にみて、停戦と和平交渉を求めるのは当然なことだ。

停戦と和平交渉というのは非常に当然な考え方だ。世界に大きな変化は必要ない。

私は、非暴力的な統治を確保するよう求めている。すべての人が平和のための知恵を確保することを求めている。すべての人が非暴力的な紛争解決の方法について知恵を学ぶことです。

停戦と和平交渉、それは非常に当たり前のことです。とりあえずそれが必要だ。

しかし、もちろん、私たちはそれだけではなく、もっと努力する必要がある。

GOODMAN:

ウクライナの平和主義者ユーリイ・シェリアジェンコは、ロシアの侵略を正当化したとして、ウクライナ政府に告発された。数日後、彼のアパートが家宅捜索された。